

仕 様

外形寸法* (cm)	幅 19.4 ×奥行 18.0 ×高さ 33.7
質量* (kg)	0.79

※およその数値です。

部品名	材料の種類	耐冷温度
製氷カップ・ふた	PE	－30度

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆製氷カップ（ふたつき）

部品番号	ABF1561
------	---------

◆ふたセット・内ケース・外ケース（傷んできたとき）
ご使用にともない傷んだりさびてくる場合があります。
上記でお申し込みください。

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品に不具合がある場合は、P.11 をご覧になりお調べください。それでも不具合のあるときは、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをご知らせの上、ご相談ください。

①製品名 ②品番（本体ケース底面のシールに表示） ③製品の状況（できるだけ詳しく） ④購入日
また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。

連絡先 タイガー魔法瓶株式会社

本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
（全国共通番号）



0570-011101

有料でご案内させていただいております。

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合は
こちらへ

TEL(06)6906-2121

●受付時間 AM9:00～PM5:00 月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除きます。）

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>

点検、修理などを依頼されるときなどに
記入しておくとお便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名			
TEL	(	)	



家庭用

氷削り器 きよろちゃん 取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読み
ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られ
るところに必ず保管してください。



この製品は海外でのアフターサービスができません。
This product cannot receive after-sales service abroad.
该产品在海外不提供售后服务。

品 番 ABF-F 型

も く じ



はじめに

安全上のご注意 …………… 2
各部のなまえと付属品 …… 4



使いかた

使いかた …………… 5
お手入れする …………… 10



困ったときは

故障かな？と思ったら … 11



その他

仕様 …………… 12
消耗品・別売品の
お買い求めについて … 12
お問い合わせについて … 12
連絡先 …………… 12

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体ケースに貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

- 子供だけで使わせたり、乳幼児の手が届く所には置かない。また、いたずらに注意する。子供が使う際は、保護者が使用上の注意を指導し、取り扱いに充分注意する。

刃や氷押さえ板についているスパイクなど
でけがをするおそれ。

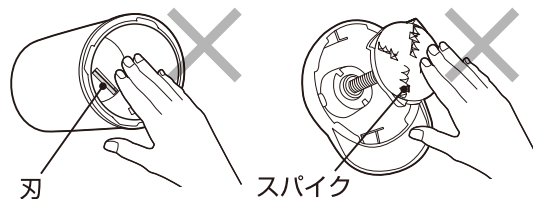


- 改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

故障・けがの原因。

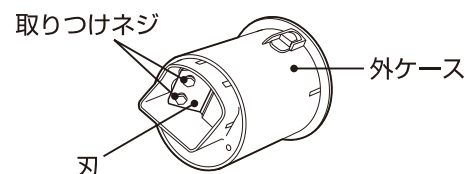
- 刃や氷押さえ板についているスパイクは鋭利なので、直接手を触れない。

けがをするおそれ。



- 刃の取り付けネジが確実にしまっていることを確認してから使用する。

刃の^{でしる}出代はすぐに使えるように調整済みのため
絶対にゆるめない。けがや故障・破損の原因。



- 乱暴な取り扱いや、氷削り器としての用途以外には使用しない。

けがや故障・破損の原因。

- 倒したり落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。

けがや故障の原因。

- テーブル等の平らな所で使用する。また、テーブルの端などに置かない。不安定な所では使用しない。

製品が落下するなどして、けがや故障・破損のおそれ。

- 次のような場所では使用しない。

- 水や油のかかりやすい所。
- 湿気の多い所。
- 火気の近く。
- 直射日光が長時間当たる所。
- 人工大理石のテーブルなどの上。
- カーペット・ビニール袋などの上。

故障・変形・変色の原因。

- ふたやハンドル、ハンドルつまみなど、製品の一部のみを持って持ち運びしない。

本体ケースがはずれて落下するなどして、けがや故障・破損のおそれ。持ち運ぶときは本体ケースを確実に持って運ぶ。



- 変形や破損など、異常があるときは使わない。
けがや故障・破損の原因。

- 氷以外のものを削らない。

故障や破損の原因。

- 氷は付属の専用製氷カップで作った氷
または、家庭用冷蔵庫の製氷器で作った
約 3cm 角以内の角氷を使用する。

大きな氷や市販の氷などを使うと、刃などが破損し、故障の原因。また角氷を使うときは入れすぎないで、氷ケースセットの中に収まる容量で使用する。

- ハンドルを、急激な速さでまわさない。

故障や破損の原因。

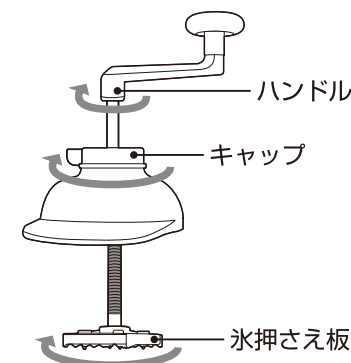
- ハンドルの高さを調整するとき以外は
レバーの位置を「けずる」に固定しておく。

ハンドルや氷押さえ板が動き、けがや故障・破損の原因。

- ふたセットのハンドル・キャップ・氷押さえ板がゆるんできたときはしめつける。

氷がうまく削れない原因。

はずれてけがや故障・破損の原因。



- ハンドルをまわしたり、レバーを動かすときに、ふたを押さえるほうの手はキャップから上を持たない。

ハンドルがさがってけがをするおそれ。

- ハンドルをまわして氷を削っているときに、本体ケースの動いている目を強く押さえたり、とめたりしない。また、無理やり動かさない。

けがや故障・破損の原因。



- 氷ケースセットにスプーンなど氷以外を入れてまわさない。

故障や破損の原因。

- 熱い液体などを氷ケースセットや製氷カップに入れない。

破損や変形の原因。

- 付属の製氷カップを加熱したり、電子レンジなどに入れて使用しない。

変形や破損の原因。

- めれてもよいテーブルの上などで使用する。

使用中や使用後、氷が溶けて水滴が落ち、テーブルをぬらすことがあるため。

- 使用後は必ずお手入れする。

刃や氷押さえ板についているスパイク、シャフトがさびるおそれ。またカビの発生や故障・変色の原因。果汁やジュースを凍らせた氷を削った場合は特にお手入れを充分に行う。(お手入れのしかた→P.10)

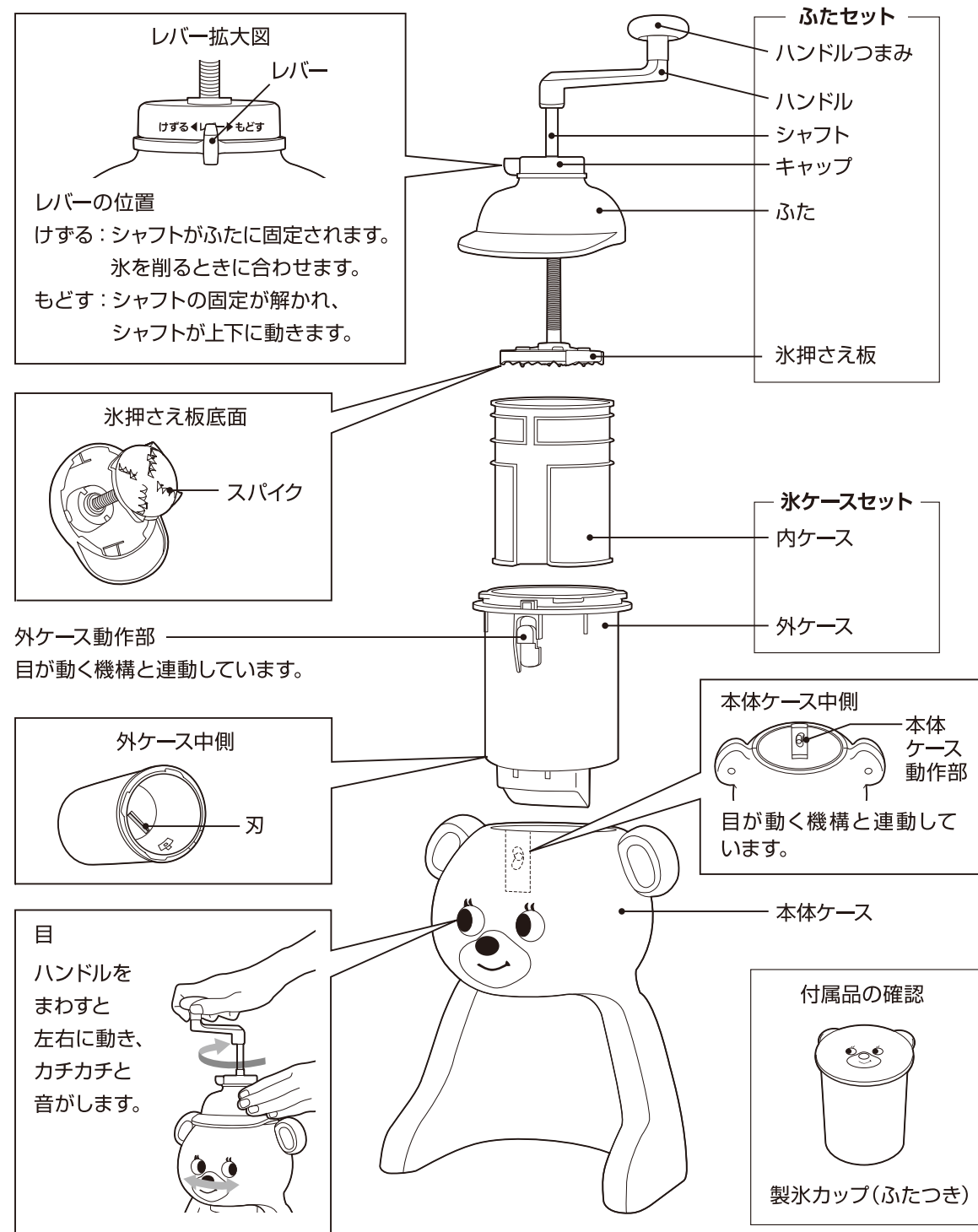
- 本体ケースを水につけたり、丸洗いしない。本体ケース以外の部品をつけおき洗いしない。
サビや故障の原因。

- 業務用として使わない。
故障の原因。

各部のなまえと付属品

箱をあけたら、まず確認しましょう。

※ご使用前に、各部品をお手入れしてください。(P.10 参照)

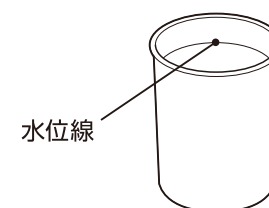


使いかた

※子供だけで使わせたり、乳幼児の手が届く所には置かないでください。また、いたずらにご注意ください。子供が使う際は、保護者が使用上の注意を指導し、取り扱いに充分注意してください。刃や氷押さえ板についているスパイクなどでけがをするおそれ。

氷の作りかた

付属品の製氷カップに水を水位線まで入れ、ふたをして水平に立てて凍らせます。



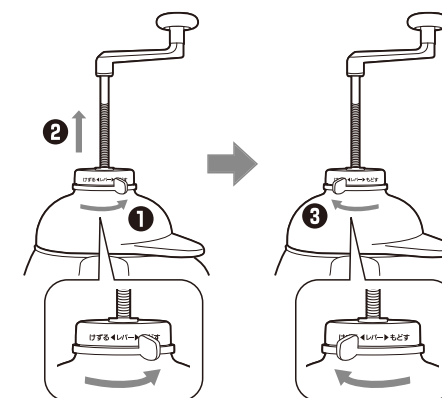
ご注意

- 氷を水位線より上に入れて凍らせない。氷がふくくて製氷カップの変形や破損するおそれ。
- 必ず付属品の製氷カップを使用する。類似のものを使用するとうまく削れない原因。
- 氷ができあがったときに、製氷カップの底がふくらんでいた場合は、氷の表面の平らな方の面が上になるように氷ケースセットに入れる。ふくらんでいる面を上セットすると氷押さえ板のスパイクが氷に引っかからず、カラまわりして「ポン」という音が鳴り、ふたセットのキャップがはずれるおそれ。キャップがはずれた場合は、レバーを「もどす」の位置に合わせてキャップをしめつける。

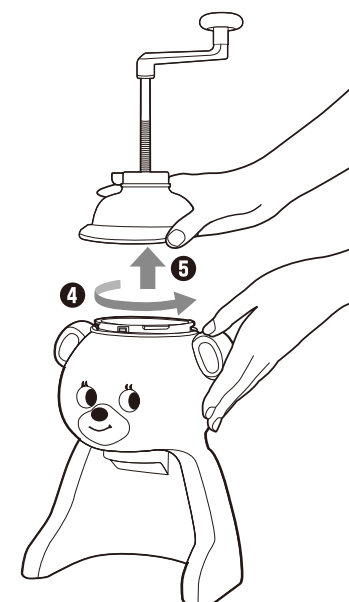
1

ふたセットをはずす。

- ①レバーを「もどす」の位置に合わせる。
- ②ハンドルをいちばん上まで引きあげる。
- ③ハンドルつまみを持ちながら、レバーを「けずる」の位置に合わせる。



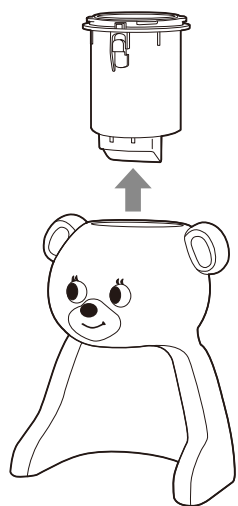
④ふたセットをはずす。



使いかた

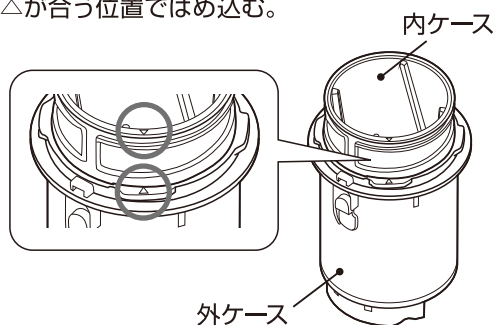
2

氷ケースセットを本体ケースからはずす。



ご注意

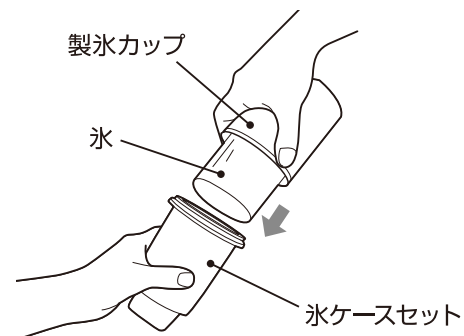
- 氷ケースセットの内ケースは必ず取りつける。取りつけないと本体ケースについている目が作動しません。また、氷が削れないなど、故障の原因。
- 必ず氷ケースセットの内ケース、外ケースとも取り出す。内ケースと外ケースが別々にはずれた場合は下図のように内ケースの▽と外ケースの△が合う位置ではめ込む。



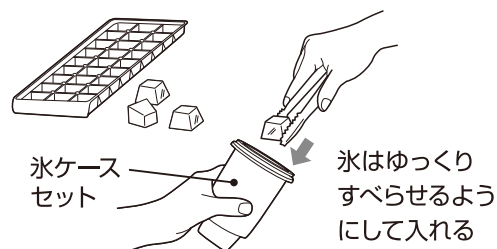
- 内ケースを外ケースからはずすときも上図のように内ケースの▽と外ケースの△が合う位置ではずす。
- 内ケースの▽と外ケースの△が合わさっている位置以外で内ケースの着脱をしない。故障・破損の原因。

3

氷を氷ケースセットに入れる。
氷はゆっくりすべらせるようにして入れる。



冷蔵庫の製氷皿で作った角氷
(約3cm角)でも使用できます。
氷ケースセットに入れられる角氷の量は
10～12個が目安です。



ハンドルがまわらない場合は、角氷の量を減らしてください。

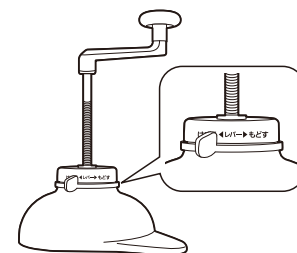
ご注意

- 製氷カップから氷を取り出すとき、たたきつけない。破損のおそれ。
氷を取り出すときは製氷カップの側面や裏面から水をかけて底面を押すと取り出しやすくなります。
- スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどで売られている市販の氷は使用しない。
うまく削れないなど、故障、破損の原因。

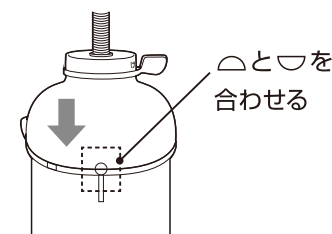
4

氷ケースセットにふたセットを取りつける。

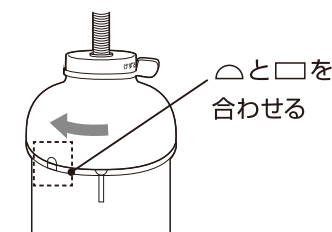
- ①ハンドルがいちばん上で固定されていることを確認する。



- ②ふたの後面の△と、氷ケースセットの外ケースの▽を合わせる。



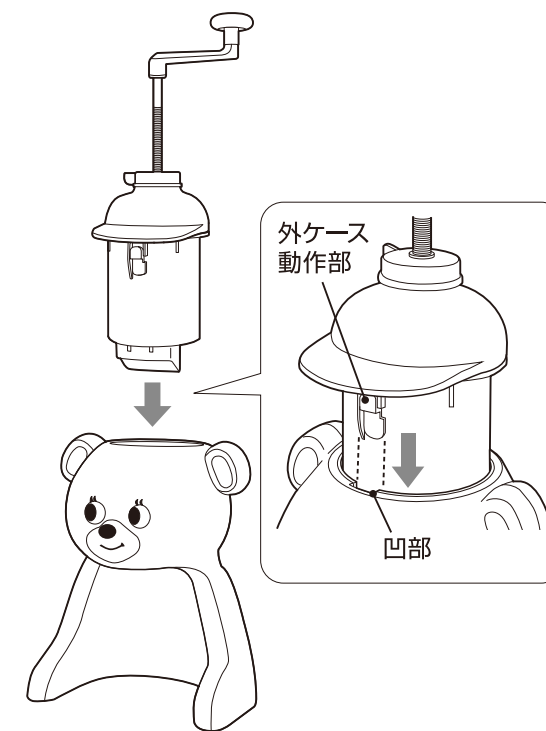
- ③ふたをまわして、ふたの△と氷ケースセットの外ケースの□を合わせてしめる。



5

ふたセットを取りつけた氷ケースセットを本体ケースに取りつける。

本体ケースの凹部と外ケース動作部が合う位置ではめ込む。

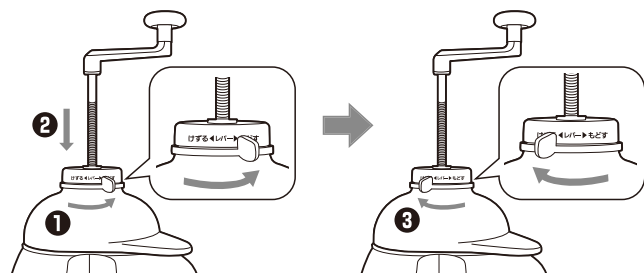


使いかた

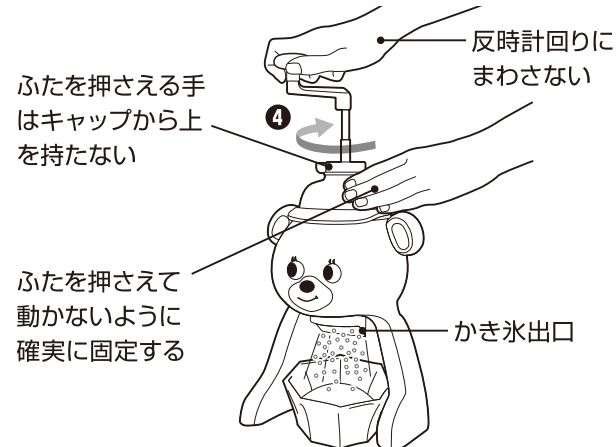
6

氷を削る。

- ①ハンドルつまみを持ちながらレバーを「もどす」に合わせる。
- ②氷押さえ板が氷ケースセット内の氷にあたるまでハンドルをさげる。
- ③レバーを「けする」の位置に合わせて固定する。



- ④かき氷を受ける皿をセットしてから、ハンドルつまみを持ってハンドルを時計回りにまわし、氷を削る。



- 皿の大きさの目安：直径 12cm 以下
- ハンドルをまわすと、本体ケースの目が左右に動きます。
- ハンドルをまわすと、氷ケースセットの中の氷が削り終わるまでシャフトが徐々にさがっていきます。

ご注意

- 使用中にカラまわりしたり、ハンドルがまわりにくくなった場合は、レバーを「もどす」に合わせて、ハンドルを引きあげて氷押さえ板を持ちあげる。その後、再度ハンドルをさげて、レバーを「けする」に合わせて削る。
- ハンドルを反時計回りにまわさない。ハンドルがはずれて、けがや故障・破損の原因。

冷蔵庫の角氷を使用した場合

使用中に氷ケースセットの中で角氷が固まってハンドルがまわりにくくなることがあります。
この場合は、ふたセットをはずして、はしなどの細長いものを使って、氷ケースセットの中の角氷をかきまわして、角氷の位置を変えてから再度使用してください。



ご注意

- 氷ケースセットの中の角氷をかきまわすときは、必ずはしなどを使い、中に指を入れない。刃でけがをするおそれ。金属製の棒やスプーンは刃を傷つけるため使用しない。また、はしなどで無理に氷や刃を突かない。破損、故障のおそれ。
- ハンドルがまわりにくくなった場合、無理にまわし続けない。破損、故障の原因。
- 付属品の製氷カップで作った氷のほうが削りやすくなっていますので、こちらをおすすめします。

7

ふたセットと氷ケースセットを本体ケースからはずし、氷ケースセット内の残りの氷を取り除く。

削り終わりや、続けて氷を削るときは、氷ケースセット内に残っている氷を取り除く。

氷ケースセット内の刃と、氷押さえ板のスパイクが接触しないように、約 5mm 厚ほどの氷が氷ケースセットに残ります。

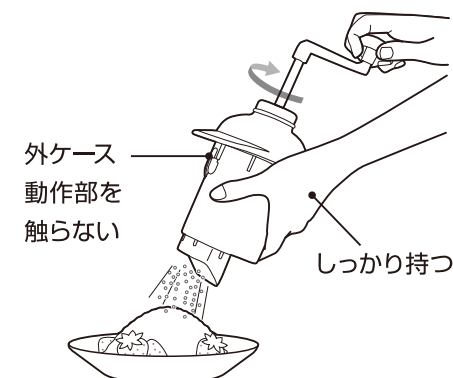
(ふたセットのはずしかた→ P.5)

(氷ケースセットのはずしかた→ P.6)

ふたセットを取りつけた氷ケースセットのままで、くだものや料理を盛った皿に直接氷を削りいれる場合

(本体ケースに取りつけなくても氷が削れます。)

手順 1～4 まで行ってから、かき氷を受ける皿の上でハンドルつまみを持ってハンドルを時計回りにまわし、氷を削る。

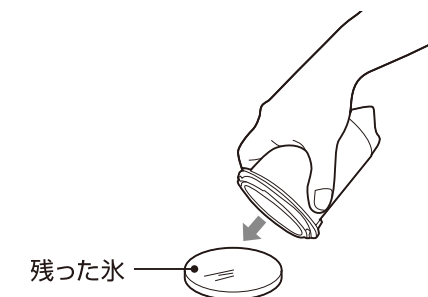


ご注意

ふたセットと氷ケースセットが確実にセットされているか確認して行う。氷ケースセットがはずれて破損、故障のおそれ。

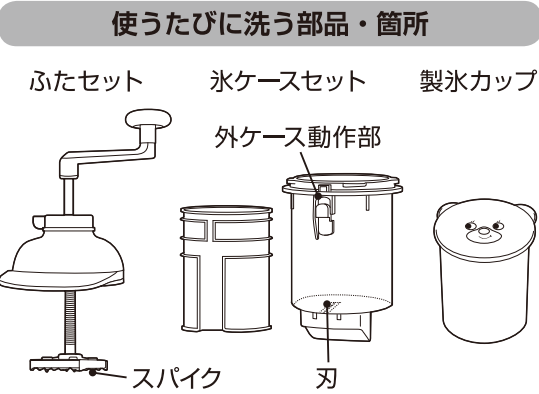
ご注意

- 氷を取り除くときは、刃に充分注意する。
- 使用後は付着した水をふきなどでふきとり、お手入れを充分に行う。(お手入れのしかた→ P.10)



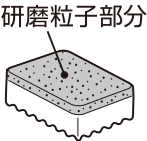
お手入れする

※使用後は必ずお手入れする。
※洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使う。
※スポンジ、布はやわらかいものを使う。

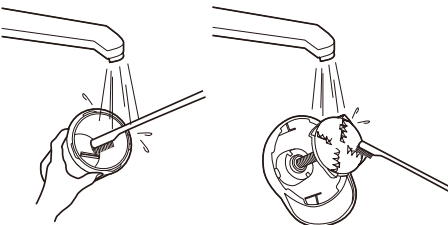


1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジやブラシなどを使って洗い、水ですすぐ。

※スポンジの研磨粒子部分で洗わない。傷がつく原因。



刃、スパイクは、ブラシなどで洗う。

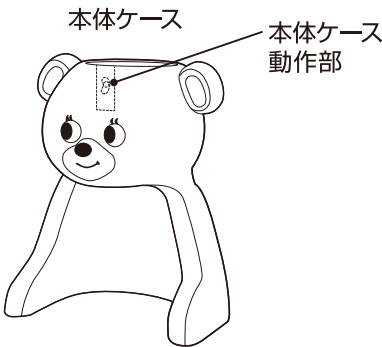


2 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

ご注意

- シンナー類、クレンザー、漂白剤、化学ぞうきん、金属たわし、ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器、50 度以上のお湯などは使わない。
- 刃や氷押さえ板についているスパイクに直接手をふれないように注意する。
- 外ケース動作部や本体ケース動作部に強い力を加えない。目が動かなくなるなど、故障・破損の原因。
- 洗った後は、すぐに水分をふき取る。また、汚れたままにしない。刃や氷押さえ板についているスパイク、シャフトがさびるおそれ。またカビの発生や故障・変色の原因。
- 刃、スパイク、シャフトがさびた場合は外ケースあるいはふたセットをお買い求めの上、交換してください。（→P.12）
- 本体ケースは、水につけたり、水をかけたりしない。
- 刃の取り付けネジは絶対にゆるめない。（刃の出代は調整済み。）

汚れるたびにお手入れする部品・箇所



水またはお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。

長期間使わないとき

- 1 各部を充分にお手入れする。
- 2 日陰で十分に乾燥させる。
- 3 ポリ袋などで密封し、湿気の少ない所で保管する。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなときは	ご確認くださいこと	直しかた	参照ページ
ふたがしまらない。	氷押さえ板が固定されて氷にあたっていないませんか。	ハンドルつまみを持ちながらレバーを「もどす」に合わせ、ハンドルをいちばん上まで引きあげてから、ふたをしめる。	7
	角氷を入れすぎていませんか。	角氷の量を減らす。	6
ハンドルがカラまわりしたり、まわりにくい・まわらない。	角氷を入れすぎていませんか。	角氷を減らし、はしなどで氷ケースセットの角氷の位置を変えてから、再度まわす。	6・8
	大きな氷や市販の氷などを削っていませんか。	付属品の製氷カップで作った氷、または家庭用冷蔵庫の製氷器で作った約 3cm 角以内の角氷を使用する。	5・6
氷が削れない。	ハンドルを逆にまわしていませんか。	ハンドルを正しい方向にまわす。	8
	氷押さえ板で氷が押さえられていますか。レバーが「けずる」の位置で固定されていますか。	氷押さえ板で氷にあたるまで押さえしてから、レバーを「けずる」の位置に合わせて固定する。	8
	削り残った氷ケースセット内の氷の上に新しい氷を入れていませんか。	削り残った氷を取り除いてから新しい氷を入れる。	9
	刃の取り付けネジがゆるんでいませんか。	刃の取り付けネジをしめつける。	2
氷が削り残る。	氷を氷ケースセットに入れたとき、ふくらんでいる面を上にはセットしていませんか。	氷の表面が平らな方が上になるように氷ケースセットに入れる。	5
	製氷カップで作った氷は構造上、約 5mm 厚の氷が氷ケースセット内に残ります。角氷を使ったときも多少の角氷が削り残りますが、故障ではありません。		9
キャップがはずれる。	氷を氷ケースセットに入れたとき、ふくらんでいる面を上にはセットしていませんか。	キャップをしめつけ、氷の表面が平らな方が上になるように氷ケースセットに入れる。	3・5
目が動かない。	内ケースをセットして使用していますか。	内ケースを外ケースに正しく取りつける。	6
	外ケース動作部が破損していませんか。	外ケースをお買い求めください。	12
	本体ケース動作部が破損していませんか。	お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	—
樹脂がこすれたようにおいがする。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。		—
プラスチック部分に線状や波状の箇所がある。	樹脂形成時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。		—